

第60回愛鳥週間

平成18年度 野生生物保護功勞者表彰

受賞者一覧

1. 財団法人日本鳥類保護連盟総裁賞（2件）

都道府県名	氏名	受賞理由
京都府	<small>なかしま</small> 中島 <small>あいじ</small> 愛治	<ol style="list-style-type: none"> 1. 60年以上にわたって傷病鳥の保護の救護と自然へ戻す活動を継続し、野鳥保護の実践及び普及啓発に大きな貢献をした。 2. 昭和60年に宇治愛鳥緑の少年団を結成し、現在まで永年にわたり会長を務め、探鳥会やツバメの巣の保護活動など親子が鳥類保護の活動を体験する機会を積極的に設け、府内の子どもたちに対し野鳥保護思想の普及啓発に大きな貢献をした。 3. 永年にわたり野鳥観察会、学校や公民館等での講演を行い、野鳥保護をはじめ環境保全に関する普及啓発に大きな貢献をした。
沖縄県	<small>しまむら</small> 島村 <small>おさむ</small> 修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国が指定する絶滅危惧種であるカンムリワシなどに関する環境省等の調査に率先して参加して、その生息状況に関する結果のとりまとめに尽力し、カンムリワシの保護事業や国設鳥獣保護区の設定など八重山の希少野生鳥類保護の推進に大きな貢献をした。 2. 八重山地域の小中学校在職中を通して学校の野鳥クラブなどの編成及び指導に力を注ぎ、児童・生徒の野鳥保護の普及啓発に大きな貢献をした。 3. 昭和47年の八重山野鳥の会の創設に尽力するとともに、昭和54年に会長となり、以後探鳥会や自然観察会、講演会等愛鳥思想や野生生物保護思想の普及啓発に大きな貢献をした。

2. 環境大臣賞（6件）

都道府県名	氏名	受賞理由
北海道	ながたに はるお 永谷 治男	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道からタンチョウ給餌人の委嘱を受ける以前の昭和26年頃から自宅近くの藻散布沼<small>もりちっぶ</small>に飛来するタンチョウに給餌をはじめ、永年にわたり給餌を継続することで、国内希少野生動植物種であるタンチョウの保護増殖に貢献した功績は高く評価できる。 2. 給餌場やその周辺で一斉調査に参加する地元小学生等への指導やタンチョウを見にくる観光客、カメラマン等に対して鳥獣保護思想の普及啓発に尽力した。
岩手県	ゆい まさとし 由井 正敏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 希少種であるイヌワシ等の猛禽類保護のための調査・研究を永年にわたり継続して行い、近年では白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のため、繁殖鳥類群集及びイヌワシのモニタリング手法確立に尽力するなど森林性鳥獣の研究者として多大な功績が認められる。 2. 環境省猛禽類保護方策分科会の座長として、効果的な調査方法の検討、既存の保護対策の検討などイヌワシ・クマタカ等希少猛禽類保護のために大いに尽力した。 3. 岩手県森林審議会等多くの委員会委員として活躍し、岩手県内の野生生物保護に多大なる貢献をした。
愛知県	すぎうら くにひこ 杉浦 邦彦	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三重県を代表する鳥類の研究者として、三重県のレッドデータブックの作成等に協力、また、三重県自然環境保全審議会委員として活躍し、野生生物保護の推進に大きく貢献した。 2. 日本野鳥の会三重県支部長など要職を歴任し、三重県内の鳥類をはじめとする野生生物の調査、研究を実施し、永年にわたり野生生物保護のために尽力した。 3. 子どもたちを対象にした野鳥観察会、講演会での講師を務めるなど野生生物保護思想の普及啓発に尽力した。

都道府県名	氏 名	受 賞 理 由
東京都	<small>むさしの</small> 武蔵野市立 <small>いのかしら</small> 井之頭小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 昭和 5 1 年に愛鳥モデル校に指定されて以来 3 0 年以上にわたり、年 8 ~ 9 回の探鳥会を実施し、児童のみならず保護者、地域の方々にも促し、野生生物保護思想の普及啓発に大きく貢献している。 2 . 委員会活動のひとつとして「愛鳥・環境委員会」を設置し、井之頭公園での鳥の定点観測の継続実施や、愛鳥週間ポスターの原画展への出展などにより愛鳥、自然保護の意識を高める活動を展開している。 3 . 保護者や地域に向けて、新聞「鳥は友だち」を発行し愛鳥・自然保護の普及啓発に努めた。
山口県	<small>しゅうなん</small> 周南市立 <small>やしる</small> 八代小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 八代に飛来するツルの観察（週 2 回）、給餌（月 2 ~ 3 回）、飛来数調査（シーズン中数回）などナベツルの保護のために多大なる貢献するとともに、越冬地の分散化のために寄与した。 2 . 平成 3 年に愛鳥モデル校に指定され、ナベツルの保護を教育活動に位置づけ、児童集会や教科などの学習活動に取入れ、愛鳥思想の普及啓発に努めるとともに、平成 9 年には環境省主催の「全国野生生物保護実績発表大会」で発表し、他の模範となった。
東京都	N P O 法人 <small>おがさわら</small> 小笠原野生生物 研究会	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 平成 9 年に創設以来、小笠原諸島各島における生物相の継続的な調査や絶滅危惧種の保護増殖活等の事業を関係機関及び地域住民と協力して実施し、また、平成 1 2 年度には<small>むこじま</small> 鴎島列島<small>よめじま</small> 嫁島のノヤギ駆逐に成功、その後、自然植生の復元事業を行うなど、小笠原諸島における固有の野生生物保護に大いに貢献した。 2 . 父島列島において、在来植生による緑化事業及び外来種駆逐に尽力した。 3 . 地元住民を巻き込んだ活動を展開することで、地域における野生生物保護思想の普及啓発にも大いに貢献した。

3. 文部科学大臣奨励賞（2件）

都道府県名	氏名	受賞理由
東京都	ふっさ 福生市立 だいご 第五小学校	昭和47年に愛鳥モデル校の指定を受けて以来、永年にわたり全校生での探鳥会と川原の美化活動を実践してきた。また、巣箱かけや営巣調査、愛鳥新聞やカレンダーの作製、愛鳥集会を継続して実施し、野生生物保護に努めてきた。
沖縄県	うるま市立 みやぎ 宮城中学校	平成9年に土地改変事業により埋立てられる場所にあったヒルギ類の移植を実施し、平成13年からは産卵期のオカガニの観察会・学習会を開催し地域住民へ生物保護を訴え、また、オカガニを自動車等の輪禍被害から守るためにエコトンネル設置を働きかけ、これを実現する等野生生物保護の実践活動に尽力した。

4. 林野庁長官感謝状（3件）

都道府県名	氏名	受賞理由
茨城県	たかはぎ 高萩市立 きみだ 君田中学校	林野庁の「遊々の森」事業と協定を締結して、森林内に巣箱や餌台を設置し、給餌活動や野鳥観察会（夏と冬）を実施する等により森林環境教育を実践している。また、野鳥についての調べ学習など総合的な学習の時間を活用して環境保全の意識の向上が図られた。
広島県	おおたけ 大竹市立 くりたに 栗谷小学校	昭和53年にみどりの少年団を結成して以来、植樹活動など緑を守る活動を実践するとともに、県立自然公園内における巣箱設置とその観察、水鳥探鳥会、校内での給餌台の設置を行っており、総合的な学習の時間を活用し、野生生物保護及び自然保護の様々な活動を積極的に行っている。
山口県	しものせき 下関市立 さんぼう 三豊小学校	昭和60年に愛鳥モデル校に指定され、週1回の早朝探鳥会、年2回の野鳥観察会、冬季の給餌活動、巣箱の作成、設置や愛鳥発表会など永年にわたり愛鳥活動を継続してきた。また、緑の少年団を結成し、学校周辺の樹木への名札の設置、植林などの活動も積極的に行っている。

5 . 財団法人日本鳥類保護連盟会長賞（5件）

都道府県名	氏 名	受 賞 理 由
新潟県	くまくら りょういち 熊倉 了一	<p>県が実施するガン・カモ類渡来状況調査など各種調査に調査員とし参画するなど永年にわたり野生生物保護に尽力し、また、新潟県野鳥保護の集い探鳥会、瓢湖での水鳥探鳥会、愛鳥モデル校等での探鳥会などの講師を務め、野生生物保護思想の普及啓発に多いに貢献した。</p>
大阪府	またの じゅんこ 又野 淳子	<p>高槻野鳥の会の設立に尽力し、代表者として鳥獣保護思想の普及に貢献するとともに、環境省が実施する調査をはじめさまざまな鳥類調査に調査員として参画し、また、大阪府環境審議会委員として鳥獣保護区の設定等に協力するなど野生生物保護に多大なる貢献をした。</p>
北海道	てらさわ たかき 寺沢 孝毅	<p>昭和59年に国指定天売島鳥獣保護区管理員となり、天売島の海鳥の保護に永年にわたり取り組み、環境省のウミガラス保護増殖分科会の検討員としても野生生物保護のために尽力した。また、私費を投じて観察センターを設立するなど野生生物保護思想の普及啓発にも尽力している。</p>
高知県	高知県立 しまんと 四万十高等学校	<p>平成14年から国の絶滅危惧種に指定されたヤイロチヨウの保護のため、トラスト地の環境整備、各種調査や生態の学習等を行っている。また、「子ども環境学習フェア」を県教育委員会と共催し、県下の中学生に対して環境問題についての普及啓発を実践している。</p>
千葉県	の だ 野田野鳥同好会	<p>昭和50年に発足して以来、野鳥観察等を通じ永年にわたり野生生物保護思想の普及啓発に努めてきた。また、沼や里山の保全の重要性を訴え続け公園等の設置を実現させた。さらに、公園等の設置後の適正な保全・管理にも尽力している。</p>

6 . 環境省自然環境局長賞（6件）

都道府県名	氏 名	受 賞 理 由
石 川 県	いとう いわお 伊藤 巖	ナホトカ号による油流出にともなう犠牲海鳥の救護や防鳥ネットによるカモ等の犠牲鳥の救護や保護、また、ミサゴ、ミゾゴイの営巣調査・保護活動、フクロウの保護活動等を継続して実践し、野生鳥類の保護に大いに貢献した。
静 岡 県	はまい ふみお 浜井 文夫	静岡県野鳥愛護協会大井川支部副支部長を務め、40年にわたり県内の鳥類に関する調査・研究を行い鳥類保護に大いに貢献した。また、地域団体や学校、野鳥愛護会員への指導、巣箱づくりや取り付けなど小学生への愛鳥指導等保護思想の普及のために尽力した。
宮 城 県	しろいし 白石市立 しらかわ 白川中学校	昭和26年から50年以上にわたり巣箱作製等による愛鳥活動を実施し、それが校内や近隣で設置する活動にまで広がった。また、17年間にわたり白石川に飛来するハクチョウ・カモ類への給餌活動を実践し、愛鳥思想の向上に努めた。
福 岡 県	日本野鳥の会 きたきゅうしゅうしほ 北九州支部	年間約50回を越える探鳥会を実施し保護思想の普及啓発活動に努めるとともに、環境省の実施する特定鳥類調査など鳥類調査に協力するほか、ズグロカモメ共同調査等の日中鳥類学术交流等鳥類保護のために貢献した。
長 崎 県	いき しま かがく 壱岐「島の科学」 研究会	壱岐島の自然に関する調査、研究を行うとともに、昭和50年から自然観察会の実施、小中学校等への講師の派遣などを行い、壱岐島特有の自然や文化について伝える活動を通して野生生物の保護や自然保護思想の普及啓発に大いに貢献した。
大 阪 府	よどがわすいけい 淀川水系 イタセンパラ 研究会	平成8年に発足して以来、淀川水系におけるイタセンパラの生息状況調査を継続し、行政と協力して稚魚調査、新設わんどの環境調査等を行い、保護・増殖のために貢献した。また、密猟防止パトロール、普及啓発リーフレットの配布、観察会・講演会等の講師など保護思想の向上に努めた。

7. 財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状及び会長感謝状

(財)日本鳥類保護連盟会長褒状(30件)

個人(12件)

都道府県名	氏名
北海道	高橋 良一
栃木県	小林 敏夫
群馬県	阿部 芳正
群馬県	成田 正嗣
埼玉県	本田 展治
神奈川県	萩原 崇夫
石川県	大門 久之
山梨県	藤原 正貴
滋賀県	小笠原 和彦
和歌山県	湯場 勝
和歌山県	福山 征兒
佐賀県	岩崎 一雄

学校(18件)

都道府県名	学校名
青森県	鶴田町立水元中央小学校
茨城県	笠間市立南小学校
栃木県	真岡市立中村南小学校
群馬県	昭和村立大河原小学校
埼玉県	川本町立川本南小学校
千葉県	本埜村立本埜第二小学校
神奈川県	神奈川県立鶴見高等学校
富山県	南砺市立利賀小学校
山梨県	身延町立下部小学校
静岡県	磐田市立田原小学校
大阪府	能勢町立田尻小学校
島根県	浜田市立和田小学校
香川県	さぬき市立小田小学校
香川県	三豊市立箱浦小学校
愛媛県	松山市立垣生小学校
宮崎県	宮崎市立檉北小学校
宮崎県	延岡市立方財小学校
鹿児島県	霧島市立塚脇小学校

(財)日本鳥類保護連盟会長感謝状(3件)

都道府県名	名称
福島県	日本野鳥の会いわき支部
長崎県	時津町ホタルの里づくり会
熊本県	熊本市愛鳥教育研究会

8. 環境省自然環境局長感謝状(69件)

(1) 野生生物保護行政従事者(4件)

都道府県名	氏名
長野県	伊藤 達夫
愛媛県	中村 秋紀
愛媛県	神原 輝洋
沖縄県	照屋 秀雄

(2) 国指定鳥獣保護区管理員(2件)

都道府県名	氏名
北海道	鳥海 正嗣
千葉県	高村 圭左右

(3) 鳥獣保護員(63件)

都道府県名	氏名	都道府県名	氏名	都道府県名	氏名
北海道	工藤 雄三郎	福島県	村井 和則	京都府	福井 未治
北海道	佐々木 康勝	福島県	矢内 久己	大阪府	平 軍二
北海道	水戸 勲	福島県	大川原 公平	岡山県	荒井 保文
北海道	山田 忠孝	福島県	蛭田 傳	岡山県	中島 等
北海道	松田 裕助	栃木県	大島 隆	山口県	数井 竹雄
北海道	大隅 和彦	埼玉県	福井 恒人	香川県	詫間 孝
北海道	山本 信弘	千葉県	天羽 明雄	高知県	窪田 正雄
青森県	気仙 昌明	千葉県	大木 文雄	福岡県	松木 春海
青森県	村口 新吉	東京都	影山 豊	佐賀県	岩下 敬司
岩手県	佐藤 泉	神奈川県	安藤 忠幸	長崎県	佐藤 泰敬
岩手県	西間 章	新潟県	大橋 昭治	長崎県	阿比留 勝次
岩手県	羽場 富雄	新潟県	内山 和助	長崎県	島居 聖
岩手県	神山 廣	新潟県	早川 功	熊本県	木村 隆
宮城県	渡邊 襲藏	新潟県	南雲 力蔵	熊本県	松本 俊和
宮城県	菅原 伸	新潟県	長崎 長二郎	熊本県	金子 博臣
秋田県	小野 助寿郎	長野県	小林 善明	大分県	陣内 正司
秋田県	斉藤 政美	長野県	滝沢 三四吉	大分県	穴井 史侶
秋田県	阿部 敏夫	静岡県	巖崎 道隆	大分県	川良 眞二
秋田県	多田 周治	愛知県	岡本 則之	大分県	河野 眞一
秋田県	伊藤 熊夫	滋賀県	山仲 敏明	鹿児島県	弟子丸 宗定
秋田県	田代 芳男	京都府	小倉 喜蔵	鹿児島県	鈴木 正雄